

東北大学災害科学国際研究所

社会連携オフィス 特定プロジェクト趣意書

「生きる力」市民運動化プロジェクト

<http://irides.tohoku.ac.jp/organization/infosociety/ikiru.htm>

## 1. 趣旨

日本は世界でも有数の「自然災害大国」であり、日本人は長らくその**災害と共存してきた**し、これからもその必要に迫られている。そのために必要な態度は、災害に正面から向き合い、「正しく脅えること」。自然災害の脅威を正しく理解して、過度に恐れたり絶望的にならないこと、逆に無視したり軽視しない、自分だけは大丈夫だと楽観視もしないこと。

自然災害の脅威を科学的知識として理解し、それに対する事前の備えをおこなう。そしていざという時に、生きぬくための正しい判断と行動ができる知力・気力・体力・コミュニケーション能力を高める。この能力こそが、“**災害と共存して「生きる力」**”である。

この力が自然災害から命を守り、生活を守り、社会を守ることにつながる。国民一人ひとりのこの「生きる力」を育むことこそが、これからの日本の国力を高めることだと考える。

## 2. プロジェクトの活動

### ◎「生きる力」を育む市民運動の推進

今回の東日本大震災はもちろんのこと、これまでの自然災害で培った膨大な研究資料・データや、その研究に基づいた防災・減災技術など、産官学の知恵とノウハウを結集して、これまで以上に実践的な防災・減災、復興を目指した市民(国民)運動体を創造・推進する。

### ◎「生きる力」の啓発活動の推進とシンボルアクションづくり

自然災害と正しく向き合い「生きる力」を育むことの重要性を国民一人ひとりに認識させる啓発活動を推進し、「生きる力」を身につけるための象徴的なアクションプランや啓発ツールを開発し普及することで、全国民を巻き込む運動として展開する。

### ◎日本から世界へ発信・対話

さらに各国の市民やNPOも巻き込みながら世界との対話を進めることで、自然災害という地球的規模の課題解決に貢献し、国際社会における日本のプレゼンスの向上を目指す。

## 3. プロジェクトメンバー

### ◎プロジェクトリーダー

- ・今村文彦（東北大学災害科学国際研究所 副所長・教授）

### ◎ プロジェクトメンバー

- ・ 邑本俊亮（東北大学災害科学国際研究所 教授）
- ・ 杉浦元亮（東北大学加齢科学研究所准教授，災害科学国際研究所兼任）
- ・ 阿部恒之（東北大学大学院文学研究科教授）
- ・ 佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所 助教）
- ・ 保田真理（東北大学災害科学国際研究所 助手）
- ・ 多賀城市震災復興推進局
- ・ 榊博報堂（防災関連チームメンバー）
- ・ 榊東北博報堂（防災関連チームメンバー）